

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



旧年中はご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本年も「安全」と「コンプライアンス(法令等の遵守)」を最優先としたうえで、事業活動における環境保全も推進した操業を行なってまいります。また、本紙はこの4月でリニューアルから2年を迎えることになり、本年は新たに弊社企業スポーツのENEOSサンフラワーズ観戦招待イベント(大浜体育館)に加え、皆様に、弊社をより身近に感じていただける企画を予定しています。

皆様と製油所とのコミュニケーションの場として、より一層の充実を図ってまいりますので、今後も変わらぬご愛顧をお願いします。

本年が皆様にとりまして充実した素敵な年となりますことを心より祈念いたします。

ENEOS株式会社 堺製油所
所長 高本 仁



昨秋に開催した「フェニックスキッズテニス教室」。子どもたちも「スポーツの秋」を楽しんでくれました。

あたたか〜い 室内で遊ぼう!

寒さ厳しい季節は、
親子で楽しく室内で遊びませんか?
堺市、高石市の2施設をご紹介します。

堺市立ビッグバン

子どもも大人も楽しめるあそびの空間

着陸した宇宙船をイメージした本館、半円のこども劇場、地上高53mの巨大ジャングルジム「遊具の塔」で構成された施設。

「あかちゃん広場」、「えほん広場」、描いた絵をコンピューターに読み込ませ、自由に動かすことができる「ハートイピア電子動物園」、大阪湾に生息していたマチカネワニの大型遊具など、年齢によっていろいろなあそびが楽しめ、おもちゃの病院(修理)もあります。「昭和30年代の街並み」は民家などの実物大ジオラマで、当時のおもちゃに触れることができます。



堺市南区茶山台1丁9番1号 ☎072-294-0999 泉北高速鉄道泉ヶ丘駅より約200m 10:00~17:00(入館は16:30まで) 月曜日休館
※月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館日。ただし春休み・5月・夏休み・10月は月曜日も開館。 ※年末年始、1月、9月の平日にメンテナンス休館あり
◎入館料/大人1,000円 小・中学生800円 3歳以上小学生未満600円 3歳未満は無料(一部、誰でも使える無料エリアもあります)

1月~3月のイベント情報

■全館企画展

「ワニタン隊長といく!」
プログラミングワールド大冒険
【期間】3月30日(木)まで

■工作ワークショップ

土は1日2回/日・祝は4回開催
定員各回16名/材料費200円

「動いて見える!?10コマアニメをつくろう」
⇒2/12(日)までの土・日・祝日

「まるでシャボン玉!?くるくるレインボー」
⇒2/18(土)~3/21(火・祝)の土・日・祝日

■スペースキッチン

(小学生以上のお子さんを
対象にしたお菓子づくり体験)

1日3回開催/定員各回8名/材料費300円

「さくふわ★焼きチョコ」
⇒2/12(日)までの日・祝日

「カラフルシュガーの★プチタルト」
⇒2/19(日)~3/26(日)の日・祝日



小さいお子さんの遊び場

HUGOOD TAKAISHI ハグッド たかいし

遊具や玩具の専門企業ボーネルンドがプロデュースを手掛け、高石市と協働で開発した子育て支援施設です。



一時預かり保育サービス
(有料)も利用できます。

高石市綾園1-9-1 アプラたかいし3階
☎072-267-3115 第2・第4火曜日、年末年始休み
プレイラボ/10:00~18:00(受付は17:00まで) テラス/10:00~17:00
スクエア/10:00~17:00

■プレイラボ あそびのひろば(有料)

はいはいの時期から遊べる「からだ遊び」のコーナーをはじめ、ダイナミックに遊べる遊具がたくさんあります。
親子2人500円/1時間(未就学のお子さんが対象)

■スクエア まなびのひろば(無料)

絵本を楽しむスペース、子育てに役立つ情報コーナーがある子育て支援ルームです。

■テラス いこいのひろば(無料)

木製遊具や植物が置かれた吹き抜けの気持ち良い空間の中で、ゆっくり過ごせます。



小林美術館

2023年3月12日(日)まで開催中!

冬季
特別展

「美の玉手箱」 西洋との出会い、巨匠たちの挑戦

ご招待券
プレゼント!



中村大三郎「雪」



横山大観「霊峰」

橋本関雪「蓬萊宝船図」

明治以降、「日本画」と「洋画」は互いに影響を与えながら、時に歩み寄り、時に乖離(かいり)しながら、それまでの時代にはなかった新たな様式を確立していきました。本展では、「日本画」と「洋画」が相互に与えた影響などに焦点をあて、横山大観・前田青邨・池田逋邨などの日本画家のほか、藤田嗣治・小磯良平・梅原龍三郎などの洋画家の作品をご紹介します。

開館時間/10:00~17:00
(入館受付は16:30まで)

休館日/月曜日
(祝休日の場合は開館し、翌日休館)

料 金/大人1,000円

電 話/072-262-2600

住 所/高石市羽衣2-2-30

駐 車 場/8台

●南海本線「羽衣」駅、JR「東羽衣」駅より北西へ徒歩約4分。
●阪堺電車「浜寺駅前」駅より南西へ徒歩約8分。

春物でこ来館の方
入館料
1割引き

(新)富木よもやま会の
よもやま
四方山ばなし
— その4 —

等乃伎神社の巨木伝説と卑弥呼

〈和泉黄金塚古墳と卑弥呼〉

前回に引き続き、卑弥呼と等乃伎神社、そして和泉黄金塚古墳の関連性についてお話しします。

(新)富木よもやま会 石田孝文

女性が葬られた 和泉黄金塚古墳

府道30号線の富木交差点のすこし南から東側に分岐するバイパス道路を200メートル余り行くと、右手に6、7本のメタセコイアの高い木立があります。この木立の前あたりから東を見ると、一面の田んぼの先に堺市原田地区の家並みが見え、その背後に大和葛城山と金剛山が望めます。金剛山から右へ浅い谷間を隔てたところに小高い丘が見えますが、この小山こそ卑弥呼が中国の魏の皇帝から贈られた銅鏡の1枚ではないかと言われる「景初3年」の銘が彫られた鏡が出土した「和泉黄金塚古墳」なのです。※西暦239年

この前方後円墳は1950(昭和25)年から翌年にかけて調査が行われ、後円部から粘土槨に木棺を納めた埋葬施設が3基出土しました。特徴的だったのは、この3基の内、主となる中央の木棺の被葬者が女性であり、しかも景初3年銘の銅鏡が側に埋められていたことでした。当然、卑弥呼との関係が想起されて話題となり、一時は各地から百舌鳥古墳群を訪れる研究者などは必ずここで足を伸ばすと言われたほどで、私が高校生の頃、日本史の参考書にこの古墳のことが載っていました。所在地は和泉市上代町ですが、等乃伎神社からは直線で600メートルと近く、富木の地との関係は深いと思われる。築造されたのは卑弥呼が没したとされる西暦

247年からは100年以上後の4世紀末です。被葬者が卑弥呼本人ではないことは明らかですが、私は卑弥呼が大和へ去った後、富木の地で跡を継いだ巫女の何代目かだったのではないかと想像しています。卑弥呼が魏から贈られた百枚の鏡の1枚を自分の故郷に贈り、この地の巫女の活動が終了した時、最後の巫女と共に埋葬されたと推測するのです。

卑弥呼が古事記に書かれなかったのはなぜ?

古事記では、富木の巨木は黄金塚が造られてから程ない5世紀前半の仁徳天皇の御世に伐られ、天皇に淡路島から清水を運ぶ船に作られたとされています。このことは、日の巫女による政が廃され、大王が政を行うことになった事を象徴する出来事ではないでしょうか。応神天皇を始めとする河内の大王は、卑弥呼のような宗教的権威をはるかに凌ぐ権威と権力を持ったことを、卑弥呼を葬った大和の箸墓よりずっと大きな古墳を造ることで示したのです。弥生時代には各地に日の巫女が居たようです。天照大神も元は九州の日向の日の巫女で、一族が河内に移って王となり大王となつて大和の勢力を飲み込み、やがて天皇になる過程で天皇家の祖先神さらに国の祖となつて伊勢神宮に祀られるようになったのでしよう。一方中国の書に明瞭に書かれている卑弥呼は、本来日本の祖先神



2

となるはずが、7世紀に天皇家が自らの系図となる「古事記」「日本書紀」を編纂したときに、不都合な真実ゆえに書かれなかったものと思われまます。

さて、富木の日の巫女を廃した後、この地に住み着いた人たちは祖先神を祀るようになりまし。等乃伎神社の主祭神は天児屋根命です。この神は天照大神が天の岩屋戸に隠れたとき、祝詞を奏してその出現を請うたとされる神で、子孫は中臣氏とされたといわれています。中臣氏の中心勢力が住み着いたのは枚岡で、東大阪市の枚岡神社は中臣氏の氏神として天児屋根命を祀ります。また鎌足のとき藤原氏となった支族が奈良の春日大社を創建した折、枚岡神社からこの命の分霊を勧請し、氏神としています。

和泉黄金塚古墳は、平成28年に国の史跡となり、和泉市は池上・曾根遺跡に次ぐ2つ目の国史跡として買収し、公園化を計画しています。このため現在立入禁止ですが、最近すぐ近くの泉北環境整備組合でのイベントの折に古墳見学会を行っています。墳丘の上からは生駒山から和泉葛城山の山並みが一望にでき、富木の巫女達が見ていたであろう景色を偲ぶことが出来ます。黄金塚に興味を持たれた方は、参加されると良いでしょう。

地元の寺社を訪ね歩こう
しんめい
第22回

神明神社

所在地 堺市堺区栄橋町2-1-22 TEL.072-238-6955
アクセス 南海本線「堺駅」下車 徒歩2分

南海電車の高架やマンションに囲まれた堺駅南口の近くにあり、通称「堺のお伊勢さん」として地元の人から愛されています。天保3年1832年には旭日神社とされていましたが、天保12年1841年に堺奉行、水野野狭守が町の繁栄・発展を祈り、地域の氏神として新たに天照大御神(アマテラスオオミカミ)、豊受大御神(トヨウケノオオミカミ)を主祭神として合祀したのが創建とされています。

昭和20年の大空襲で境内建物はほぼ焼失しましたが、平成9年には社殿が新築されました。

近くにある大浜公園には一等三角点のある日本一低い山「蘇鉄山」があり、標高6.97m、大阪湾展望のための築山で山頂付近に蘇鉄が植えられています。社務所では蘇鉄山登山証明書がもらえます。

読者の皆様からのご意見・ご質問に対するご回答、当製油所からのお知らせなどを発信します。

VOICE 築港一番地

当社女子バスケットボール部 ENEOSサンフラワーズ 観戦チケットを抽選で40名様に!

当社女子バスケットボール部「ENEOSサンフラワーズ」は、12月18日に行われた第89回皇后杯(全日本バスケットボール選手権大会)で優勝し10連覇を達成しました。また、開幕中の第24回Wリーグ(バスケットボール女子日本リーグ)も中盤戦となり、毎試合、熱戦を繰り広げております。

2023年3月4日(土)・5日(日)の両日、堺市立大浜体育館にて行われるアイシンウィングスとの試合のうち、5日(日)の試合に抽選で40名様をご招待いたします。会場での皆様の熱い声援をお待ちしております。

●日時 3月5日(日) 受付15:00～(ハーフタイムまで) / 試合16:00～

●場所 堺市立大浜体育館

●応募方法 代表者の〒住所、氏名、年齢、チケット希望枚数を記入し、WEBでご応募ください。

<https://www.phoenix-sakai.com/oubo/>

※1回の応募で最大5枚までOK。未就学児はカウントしません。※当選者に行方不明の未就学児は、チケットなしで入場できます。

●応募締切 1月31日(火) 23時59分59秒まで

●発表 当選者のみ2月15日(水)までに招待状をお送りいたします。

今月のクイズ

ENEOS女子バスケットチーム・サンフラワーズの「サンフラワー」とは?

A ひまわり B 太陽 C ひなぎく

12月号の答え: C ゲネプロ

◆応募方法
①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④電話番号
⑤今号で良かった記事 ⑥入手方法(A:新聞折込 B:羽衣駅PRボックス C:WEB D:その他)
⑦ご意見ご感想(任意) ⑧ご希望のプレゼント(※or)をご記入のうえ 1.ハガキ 2.WEBのいずれかで、ご応募ください。

◆応募締切 1月23日(月) 郵送の場合は当日消印有効。WEBの場合は当日23時59分59秒まで

◆郵送先 〒592-8550 ENEOS(株)堺製油所クイズ係

◆URL <https://www.phoenix-sakai.com/quiz/>

※応募者の氏名等個人情報は、当選者の抽選または賞品発送等に関するのみ使用いたします。また、個人情報の管理は、法令に従って実施しております。※ご応募はお一人様一回限り、景品の発送をもって当選者の発表にかえさせていただきます。

カセットコンロで手軽に燻製が作れる! 20名様

あ 簡易くんせい器 スモーくん
●サイズ:現品約24.5φ×34.5cm
●材質:本体=ガルバリウム鋼板・亜鉛鉄線、チップ=サクラ

い 小林美術館ご招待券 ペア3組(6名様)